九州歯科大学附属図書館利用者数の解析

高 田 豊

九州歯科大学健康促進科学専攻健康増進学講座総合内科学分野
九州歯科大学附属図書館

平成 20 年 9 月 2 日受付

平成 20 年 10 月 22 日受理

Analysis of Number of Users at Kyushu Dental College Library

Yutaka Takata

Division of General Internal Medicine, Department of Health Promotion,
Science of Health Improvement, Kyushu Dental College,
Chief Librarian of Kyushu Dental College Library,
Kitakyushu, Japan

E-mail: yutaka@kyu-dent.ac.jp

Abstract

The number of users at the Kyushu Dental College Library was analyzed between 2002 April and 2008 July. The annual number of the library users averaged 69,810, and the number of weekday users averaged 291. In 2007, when the new library had opened, the user was more than that of old library by 14,039 for annual number of users, and by 39 for weekday. Monthly and daily user was the most at February and September, and the least at August. Weekend library opening had started in 2007 April, and the number of weekend user tended to increase in 2008 compared to that in 2007. Library users between 20:00 and 22:00, where it is executed from 2008 April, increased gradually from April to July. The time zone where the number of weekday user is the most was 16:00~17:00, and many next 12:00~13:00 and 14:00~15:00, but that of weekend user unlike weekday was the most at 19:00~20:00. Although library opening time extension becomes improvement of the most useful service for the user, the detailed analyses of library users by month, day of the week or time zone, or by weekday or weekend may be needed for more efficient service offer.

Key words: Library/Number of visitors/User

抄 録

九州歯科大学附属図書館における入館者数を平成 14 年 4 月から平成 20 年 7 月の間で分析した。年間入館者数は平均 69,810 名で、平日一日入館者数は平均 291 名であった。新図書館となった平成 19 年度は旧図書館入館者数よりも

年間入館者数で 14,039 名、一日入館者数で 39 名増加していた。月間と一日入館者数では最も多い月は 2 月と 9 月で最も少ない月は 8 月であった。平成 19 年度に開始された土・日の週末入館者数は平成 19 年度より 20 年度で増加の傾向であった。平成 20 年 4 月から実施された 20:00～22:00 の開館延長時間帯の入館者数も 4 月から 7 月と漸増していた。平日入館者数が最も多い時間帯は 16:00～17:00 で、次に多いのは 12:00～13:00 と 14:00～15:00 であったが、週末入館者数は平日とは異なり 19:00～20:00 が最も多かった。図書館開館時間延長は利用者にとって最も有用なサービスの向上になるが、より効率的なサービス提供のためには月別、曜日別、時間帯別、平日・週末別での入館者数の詳細な分析が必要と考えられた。

キーワード：図書館/入館者数/利用者

緒 言

大学附属図書館は学生にとって予習・復習などの自主学習のための中心的場所となる重要な施設である。我々は図書館利用者のニーズを把握するためこれまで図書貸出に関する教科別・利用者別解析¹⁾や図書館図書・設備満足度調査^{2),3)}を行ってきた。図書館の利用者数すなわち入館者数を把握することも図書館利用者のニーズを知る上で重要である。本学附属図書館では利用者のニーズに応じて平成 14 年度より平日閉館時間を 17:00 から 20:00 に延長し、新図書館となった平成 19 年 4 月から週末(土・日)開館(12:00～17:00)を開始した。平成 20 年 4 月からさらに平日閉館時間を 20:00 から 22:00 に延長し、週末開館時間を 12:00～20:00 へ延長した。しかし、最近実施している図書館開館時間延長や週末開館がどのように利用されているかをこれまで解析してこなかった。そこで、この論文では平成 14 年から平成 20 年 7 月までの図書館入館者数を年度別、月別、曜日別、時間帯に分けて解析を行い、今後の図書館利用者サービス改善に役立てたい。

対象および方法

平成 14 年度から平成 20 年 7 月までの附属図書館入館者数を解析した。入館者数はブックディテクションシステム(M3501, 住友スリーエム(株))を用いてカウントした。平成 14 年 4 月から平成 18 年 5 月までは一日入館者数(開館時間から閉館時間までの総入館者数)だけが記録として残されたが、平成 18 年 6 月から時間帯ごと(9:00～10:00, 10:00～12:00, 12:00～13:00, 13:00～16:00, 16:00～18:00, 18:00～19:00, 19:00～20:00)の入館者数が記録された。さらに、平成 20 年 4 月からは時間帯を 1 時間ごとに変更し、9:00～10:00, 10:00～11:00, 11:00～12:00, 12:00～13:00, 13:00

～14:00, 14:00～15:00, 15:00～16:00, 16:00～17:00, 17:00～18:00, 18:00～19:00, 19:00～20:00, 20:00～21:00, 21:00～22:00 で計測した。今回の入館者数解析では、平成 14 年度から平成 19 年までの変化、特に新図書館になった平成 19 年度入館者数を旧図書館入館者数の平成 14 年度～18 年度と比較するとともに、平成 19 年度から実施した週末開館日(土・日)と平成 20 年度から実施した平日開館時間延長時間帯(20:00～22:00)での図書館利用状況を把握することを主な目的とした。

結 果

平成 14 年度から 19 年度までの年度別年間総入館者数(図 1A)と年度別一日平均入館者数(図 1B)の推移を図 1 に示す。旧図書館の平成 14 年度から 18 年度まで 5 年間の平均年間総入館者数は 67,470 名であったが新図書館となった平成 19 年度は 81,509 名となり 14,039 名増加した。同様に平日の一日入館者数は平成 14 年度から 18 年度までの 5 年間で平均 286 名であったが新図書館の平成 19 年度では 325 名となり一日当たり 39 名入館者数が増加した。図 1A と図 1B は年間開館日数が年度ごとに異なる。開館時間が短くなる長期休暇日数も年度ごとに異なる。平成 19 年度から土・日の週末開館を開始した。などの理由から A は単に B の数値に同じ日数をかけたものではない。図 2 に平成 14 年度から平成 19 年度までの月別の月間入館者数(図 2A)と一日入館者数(図 2B)を示す。月間、一日にかかわらず、2 月の入館者数が最も多く、次が 9 月で多かった。一番少ない月は 8 月で、次に少ない月は 4 月であった。入館者数は試験期間中で多く、長期休暇中に少ない傾向が見られた。図 2A と図 2B に関しても月間開館日数が月により異なる。長期休暇の占める日数も月ごとに異なる。などの理由から A、B は完全に類似ではない。次に月間入館者数を年度

図1 年間総入館者数（A）と一日平均入館者数（B）：平成14年度から平成19年度までの推移。

別で示す（図3）。新図書館となった平成19年度は5月、6月、7月、9月、10月、12月、1月、2月とこれまでで最も多い月間入館者数を示したが、逆に3月は平成18年度に次ぐ少なさであった。試験月である9月と1月、2月で前年度と比較して特に入館者数が増加していた。図3の平成18年度3月（平成19年3月）は旧図書館から新図書館へ移行した月にあたり開館日数が6日間しかないため極端に少ない入館者数（1,329名）となっている。平日の一日入館者数の年度別・月別入館者数（図4）でも月間入館者数とほぼ同様な傾向を示しており、平成19年度から実施された土・日の週末開館に伴う月間入館者数増加が平成19年度で見られた平成18年度以前との差の主な原因ではないことが示唆された。曜日別の一日入館者数（平成16年度～19年度平均）を示す（図5）。月曜日が305名と最も多く次が302名の火曜日であった。最も少ない曜日は金曜日の280名で次に少ないのが

図2 月間入館者数（A）と一日入館者数（B）の月別推移：平成14年度から平成19年度までの平均。

283名の水曜日であった。

次に平成19年4月から開始した週末（土・日）開館と平成20年4月から実施した開館時間延長（20:00を22:00へ延長）の効果を検討した。平成19年4月から平成20年7月までの週末の一日入館者数を図6に示す。平成19年4月は29日の同窓会記念事業日に427名が入館したため、4月の入館者数が増加した。この月と試験月の9月と2月を除くと平成19年度は一日で約40から80名が週末に入館していた。平成20年4月から開館時間を12:00～17:00から12:00～20:00に延長した効果もあり入館者数は前年度より増加した。特にセメスター制が始まった今年度（平成20年度）の7月は試験月となり通常の平日入館者数に匹敵する292名が週末の土日に入館した。

平成20年4月に実施した平日開館時間延長について検討した。平成20年4月から7月までの1時間ごとの

図3 月間入館者数の月別推移：平成14年度から平成19年度までの比較。

図4 一日入館者数の月別推移：平成14年度から平成19年度までの比較。

図5 一日入館者数の曜日別推移：平成16年度から平成19年度までの平均。

図8 20:00から22:00までの入館者数の月別推移：平成20年4月から7月までの平日の平均。

図6 週末一日入館者数の月別推移：平成19年4月から平成20年7月までの比較。

図7 平日の一時入館者数の推移：平成20年4月から7月までの平均。

図9 週末の一時入館者数の推移：平成20年4月から7月までの平均。

入館者数を図7に示す。一番多い時間帯は16:00～17:00で次に多いのは12:00～13:00, 14:00～15:00, 17:00～18:00と15:00～16:00, 10:00～11:00であった。これらの入館者数が多い時間帯から、最終授業終了時間帯、昼食休憩時間帯と授業間の短い休憩時間帯に学生が図書館を利用していることが分かった。授業時間帯の午前の9:00～10:00, 11:00～12:00と午後の13:00～14:00は当然であるが入館者数は少なかった。また、延長された20:00～22:00の時間帯も1時間当たり20名以下と少なかった。次に図8に平成20年4月から7月までの開館延長時間帯(20:00～22:00)一日入館者数の月別の推移を示す。4月は20名と少なかったが5月29名, 6月36名, 7月58名と次第に増加していた。図9は平成20年4月～7月までの週末開館における時間別入館者数を示す。平成20年4月から開館時間が延長された17:00～20:00の時間帯で1時間入館者数12:00

～17:00 よりも多い傾向にあることが分かった。

考 察

平成14年4月から平成20年7月まで6年4ヶ月間の本学附属図書館入館者数を解析した。平成18年度までの旧図書館入館者数と比べて新図書館となった平成19年度では年間入館者数が81,509名と旧図書館時代の年間入館者数67,470名と比べて21%増加し、平日一日入館者数は286名から325名と14%増加した。平成19年度から土・日の週末開館を開始したため年間入館者数増加の一部はこの週末入館者によると考えられた。平成14年度から19年度の6年間全体の月間入館者数と一日入館者数はともに2月(8,747名/月, 448名/日)と9月(7,940名/月, 408名/日)の試験期間中が多く、8月(2,308名/月, 122名/日)と3月, 4月の長期休暇期間中が少なかった。曜日別入館者数では月曜日(305名/日)が最も多く、金曜日(280名/日)が少なかったが、月曜日と金曜日の差は9%と比較的小さかった。

新図書館となった平成19年度から開始した12:00～17:00の週末開館は平成19年度が9月(126名/日)と2月(119名/日)の試験期間中を除き40～80名/日と少なかったが平成20年4月から開館時間を12:00～20:00に延長した効果もあり4月48名/日, 5月113名/日, 6月139名/日, 7月292名/日と月を追うごとに急増した。ただ、平成20年度からセメスター制に変わったため7月の292名/日は平成20年7月が試験期間中になった影響が大きいと思われる。また、平成20年度から平日開館時間9:00～20:00を9:00～22:00に2時間延長した。この20:00～22:00の2時間の入館者数は4月20名と少なかったが、5月29名, 6月36名, 7月58名と漸増した。前述のように7月が試験期間になった影響もあると考えられるが、開館時間の延長が次第に周知され利用されたと考える。

次に一日の中でどの時間帯の入館者数が多いかを平成20年4月から7月までの資料で検討した。平日の時間入館者数が最も多かったのは16:00～17:00(64名)で一日の授業終了時刻に相当する。次に多いのが2時限目終了時刻で昼食休憩時間の12:00～13:00と3時限目終了時刻の14:00～15:00が多く、学生が授業終了時刻に図書館を利用していることがうかがわれる。20:00～22:00は17名/時間と19名/時間と比較的少なかった。週末の時間入館者数で最も利用者が多い時間帯は19:00～20:00の24名/時間, 次が16:00～17:00と17:00～18:00の22名/時間で、逆に最も少ない時間帯は12:00

～13:00の13名/時間であった。昼間よりも夕方から夜間の利用者が多い傾向があった。このように、週末入館者数は平日利用者数よりも明らかに少なかったが、その時間帯分布は全く異なり、19:00～20:00の時間帯では平日利用者よりも週末利用者のほうが多かった。

図書館満足度への新図書館竣工の影響をみた我々の研究³⁾では教育満足度は改善されていないにもかかわらず図書館全体の満足度は明らかに改善していた。これは図書館設備改善によるところが大きいのと考えるが、一部週末開館開始の影響の可能性もある。しかし、新本館竣工後も自主学習全体の満足度は有意に改善されておらず、図書館自体の学習環境改善の努力を今後も継続する必要がある。また、学生の授業評価⁴⁾において「あなたは、この授業に関連した予習・復習をしましたか?」の質問に「はい」と答えた学生は僅か30.5%しかおらず、大半の学生は予習・復習をしていないことが分かる。この予習・復習をしている学生を増加させるためにも自主学習の中心的場である図書館への学生ニーズを的確に把握する努力が今後とも重要である。学生の自主学習支援のために自主学習環境を充実させることは大学にとって必要不可欠な努力項目である。自主学習の中心的設備は図書館であるので図書館設備の充実が重要事項となる。すなわち、図書館設備充実の利用者の中心である学生の学習環境充実のために必要である。図書館設備の充実が学生の予習・復習比率改善の一助になると考える。

前回の論文¹⁾では図書館の重要な使命である情報源としての役割を検討するために貸出し図書に関して解析を行った。本論文では学生の学習環境の場としての図書館の役割を考えるために利用者数に絞って解析を行った。

結 論

この研究から、平成18年度以前に比べて新図書館となった平成19年度年間入館者数が21%増加し、一日入館者数も14%増加したことが分かった。月別の検討から、試験期間中の利用者が多く長期休暇中の利用者は少ないことも分かった。平日開館の時間帯別検討から授業終了時間帯と授業の間の昼休みや休憩時間中に利用されていることが推測された。平成20年度から実施した平日開館延長時間帯の20:00～22:00は入館者数が未だに少ないが増加の傾向にあること、週末開館延長時間帯の17:00～20:00は昼間時間帯よりも比較の入館者数が多いことなどが分かった。また、平成19年度から開始された週末開館は平日開館よりも明らかに入館者数が少ないが漸増の傾向にあることも分かった。学生にとって

利用しやすい図書館になるためには、学生を中心とした図書館利用者のニーズをもっと的確に把握してより効率的な開館時間を設定することが重要と考えられた。

謝 辞

本研究にご協力を頂いた九州歯科大学附属図書館職員の大峯紀美恵，上野真代，宗眞由美，滑石美穂，藤堂美佳さんに対し心から謝意を表します。

文 献

- 1) 高田 豊：九州歯科大学附属図書館貸出し図書の教科別・利用者別解析. 九州歯会誌 61: 178-185, 2007.
- 2) 高田 豊，豊野 孝，荒井秋晴，稲永清敏，後藤哲哉，西原達次：九州歯科大学歯学部学生の学習環境満足度調査結果について. 日歯教誌 24: 25-32, 2008.
- 3) 高田 豊，豊野 孝，荒井秋晴，稲永清敏，後藤哲哉，西原達次：歯学部学生の学習環境満足度の変化：新本館竣工の効果. 九州歯会誌 62: 91-99, 2008.
- 4) 高田 豊，西原達次，寺下正道，鱒見進一，自見英治郎，牧 憲司，森本泰宏，福田仁一：本学歯学部学生による授業評価の包括的解析. 日歯教誌 23: 278-287, 2007.